

視覚障がい者の日常生活と障壁（バリア）

～住み続けられる地域づくりの第一歩を～

視覚障がいの方がどのように日常生活を送っているのかご存知ですか？講師より日頃の生活の様子や直面する困りごとについてご講演をいただきます。

皆さんが地域のどこかで困っている視覚障がい者の方を見かけたらどんな言葉がけやサポートができるのか学び、共に安心して生活できる地域づくりの第一歩を踏み出してみませんか？

講師 木村 弘美 氏

社会福祉法人新潟県視覚障害者福祉協会 理事長

日時 1月30日（日）10時20分～正午（受付9時50分～）

会場 保健福祉センター京和荘 多目的ホール

阿賀野市姥ヶ橋 1104 ☎0250-67-3171

申込み 阿賀野市ボランティアセンター ☎0250-67-9203

参加費無料 定員20名 ※申込み期限 1月19日（水）

その他 手話通訳あり

新型コロナウイルス感染症の拡大等により、中止する場合がございますのでご了承ください。

※講師プロフィール別紙記載



～ 講師プロフィール紹介～

講師 木村 弘美 氏

社会福祉法人新潟県視覚障害者福祉協会 理事長

○経 歴

12歳頃から目の見えにくさを自覚し、中学2年時に盲学校に入学。卒業後は鍼師として就職。結婚後専業主婦として子育てに専念。40歳頃から盲導犬と暮らし始め、「社会に感謝することの大切さ」に気づき、その後社会福祉法人新潟県視覚障害者福祉協会の役員を歴任し、令和元年に理事長へ就任。

○現在の活動

県内の視覚障がい者の方々の生活向上の働きかけやガイドヘルパーや点訳・音訳ボランティア、パソコン訓練などの支援者の養成、学校での障がい福祉学習などに尽力している。市内小中学校の福祉学習の講師としても登壇し、好評を得ている。「周りに助けを求める前に、自分ができることをやってみて、できないところを助けていただく。そして自分が支援できることを実行していく。」という理念の基に視覚障がい者の福祉向上運動への支援の輪を広げていきたいという思いで活動している。